

〔記入例〕

*** 両面印刷にしてください。**

輸入公表三の七の(7)に基づく輸入に関する確認申請書

経済産業大臣 殿

平成〇〇年〇〇月〇〇日

申請者名 株式会社〇〇〇〇

記名押印

又は署名 代表取締役 〇〇〇〇 印

住 所 東京都〇〇区〇〇〇-〇-〇

電話番号 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇

及び担当者名 輸入課 〇〇〇〇

※確認番号
※確認年月日

次の輸出許可書等の確認を申請します。

発 行 国 〇〇〇〇

許可書番号 08/〇〇〇〇A

A	学 名	(和 名)				
		<i>Psittacula Cyanocephala</i>	<i>コセイインコ</i>			
	原産国	<u>〇〇〇〇</u>	ソース	<u>C</u>	数 量	<u>20heads</u>
B	学 名	(和 名)				
	原産国		ソース		数 量	
C	学 名	(和 名)				
	原産国		ソース		数 量	

上記の輸出許可書等について確認する。なお、本確認書により輸入申告をする際には、別添の輸出許可書等の原本を税関に提出すること。また、本確認書は税関に提示し確認を受けた後、輸入通関後1ヶ月以内に裏面の「輸入状況報告」欄に記入のうえ、確認担当課あて返送すること。

※経済産業大臣の記名押印

資 格 _____

記名押印 _____

(裏面)

※通関

輸入申告番号 及び申告年月日	送状数量	裏面は、申請時に記入の必要はありません。	金額	許可又は承認年月日 及び税関押印	
輸入状況報告					
船積日	到着日	BL		輸出数量	死亡数量
			A		
			B		
			C		
輸入時の動物の状況及び死亡した動物			場合には原因について記入して下さい		

- (注) 1 本申請書の大きさはA列4番縦長とすること。
2 「発行国」及び「許可書番号」欄には、当該貨物について発行された輸出許可書、再輸出証明書又は加工証明書の発行国及び番号を記載すること。
3 「原産国」欄には、輸出許可書、再輸出証明書又は加工証明書中にある原産国を記載すること。
4 「ソース」欄には、W=野生から取得したもの、F=F1世代又は野生と同等の飼育下で繁殖されたもの、R=ランチング事業から生まれたもの、C=飼育により繁殖されたもの、I=没収されたもの、U=出所不明、O=条約適用前に取得されたもの、の区分を記載すること。
(5) ※印のある欄には記入しないこと。